

ソーラーカーポートの導入事例集

2023年3月作成・2025年3月更新版
環境省

ソーラーカーポートの導入事例集 目次 (1)



<施設用途>

工場

事業所等

大学

リゾート施設

事務所等

その他

No.	年度	取組名称	補助事業者名	所在地	施設用途	発電容量	設置 タイプ	導入方式	その他
1	R3	積水化学工業 多賀工場ソーラーカーポート導入事業	積水化学工業株式会社	滋賀県多賀町	工場	太陽光パネル出力 654kW パワコン出力 480kW (駐車場 248台分)	一体型	自己所有	
2	R3	松本歯科大学 ソーラーカーポート導入事業	学校法人松本歯科大学	長野県塩尻市	大学	太陽光パネル出力 1,362kW パワコン出力 1,260kW (駐車場 506台分)	一体型	自己所有	蓄電池容量 15kWh
3	R4	大学キャンパスにおけるPPAによる太陽光発電設備等導入事業	みずほリース株式会社	宮崎県宮崎市	大学	太陽光パネル出力3,828kW パワコン出力 3,160kW (駐車場 1,592台分)	一体型	オンサイトPPA	
4	R4	那須ハイランドパークソーラーカーポート設置事業	スマートグリーンエネルギー那須株式会社	栃木県那須町	リゾート施設	太陽光パネル出力 476kW パワコン出力 449kW (駐車場 128台分)	一体型	自己所有	
5	R3	中日本自動車短期大学 敬愛寮カーポート整備事業	学校法人神野学園	岐阜県坂祝町	学生寮	太陽光パネル出力 18kW パワコン出力 10kW (駐車場 6台分)	一体型	自己所有	
6	R4	カーポート太陽光発電設備設置事業	株式会社ダイナックス 千歳工場	北海道千歳市	工場	太陽光パネル出力 1,006kW パワコン出力 782kW (駐車場356台分)	一体型	自己所有	
7	R3	寒冷（積雪）地域における小規模なソーラーカーポート&蓄電池の設備導入事業	株式会社キヤナギ重機	岩手県北上市	事業所等	太陽光パネル出力 12kW パワコン出力 10kW (駐車場 4台分)	一体型	自己所有	蓄電池容量 13kWh
8	R3	日本オーチス・エレベータ株式会社へのカーポート設置型太陽光発電設備導入事業	みずほ丸紅リース株式会社	千葉県芝山町	事業所等	太陽光パネル出力 555kW パワコン出力 454kW (駐車場 197台分)	一体型	オンサイトPPA	
9	R3	オンサイトPPAを活用した公共施設への初期投資不要型ソーラーカーポート導入事業	ひょうご環境エネルギー 合同会社	兵庫県南あわじ市	事業所等	太陽光パネル出力 53kW パワコン出力 50kW (駐車場 18台分)	一体型	オンサイトPPA	
10	R4	豊橋市市有施設への再生可能エネルギー等導入事業	大和リース株式会社	愛知県豊橋市	動植物公園	太陽光パネル出力 992kW パワコン出力 885kW (駐車場 355台分)	一体型	オンサイトPPA	
11	R3	ワクラ村田製作所カーポート型太陽光発電設備導入事業	株式会社ワクラ村田製作所	石川県七尾市	工場	太陽光パネル出力 695kW パワコン出力 550kW (駐車場 約200台分)	一体型	自己所有	

ソーラーカーポートの導入事例集 目次 (2)



<施設用途>

工場

事業所等

大学

リゾート施設

事務所等

その他

No.	年度	取組名称	補助事業者名	所在地	施設用途	発電容量	設置タイプ	導入方式	その他
12	R3	アリアケジャパン第二工場に於けるカーポート型太陽光発電設備設置事業	JA三井リース株式会社	長崎県佐々町	工場	太陽光パネル出力 1,422kW パワコン出力 1,197kW (駐車場 426台分)	一体型	オンサイトPPA	
13	R3	花王和歌山工場 カーポート一体型太陽光発電設備導入事業	花王株式会社	和歌山県和歌山市	工場	太陽光パネル出力 576kW パワコン出力 500kW (駐車場 146台分)	一体型	自己所有	
14	R3	万博記念つくば先端事業所カーポート型太陽光発電システム導入事業	株式会社フジキン	茨城県つくば市	事業所等	太陽光パネル出力 854kW パワコン出力 800kW (駐車場 256台分)	一体型	自己所有	
15	R3	中山間地域における地域貢献型の小規模なソーラーカーポート導入の取組	株式会社M-easy	愛知県豊田市	事務所等	太陽光パネル出力 12kW パワコン出力 11kW (駐車場 4台分)	一体型	自己所有	
16	R3	ホームセンターのCO ₂ 排出削減及び災害時のサプライチェーン強化に向けたオンサイトPPAモデルを活用したソーラーカーポート導入事業	株式会社 afterFIT	千葉県八街市	商業施設	太陽光パネル出力 234kW パワコン出力 210kW (駐車場 82台分)	一体型	オンサイトPPA	
17	R3	尾道冷凍流通センター自家消費用ソーラーカーポート太陽光発電所整備事業	日本生活協同組合連合会	広島県尾道市	物流施設	太陽光パネル出力 987kW パワコン出力 850kW (駐車場 356台分)	一体型	自己所有	
18	R3	トッパン・フォームズ東海(株) 袋井工場ソーラーカーポート整備事業	株式会社中電Loop Solar	静岡県袋井市	工場	太陽光パネル出力 1,059kW パワコン出力 700kW (駐車場 314台分)	一体型	オンサイトPPA	
19	R6	中津川カントリークラブ ソーラーカーポート整備事業	株式会社Sustechエンジニアリングサービス	神奈川県厚木市	リゾート施設	太陽光パネル出力 159kW パワコン出力 155kW (駐車場 60台分)	一体型	オンサイトPPA	
20	R6	伊勢工場ソーラーカーポート整備事業	日本特殊陶業株式会社	三重県伊勢市	工場	太陽光パネル出力 1,092kW パワコン出力 880kW (駐車場 302台分)	一体型	自己所有	蓄電池容量 30kWh
21	R3	宿泊施設付きゴルフ場の駐車場を利用した蓄電池付きソーラーカーポート事業	リソル土地開発株式会社	茨城県常陸太田市	リゾート施設	太陽光パネル出力 108kW パワコン出力 100kW (駐車場 40台分)	搭載型	オンサイトPPA	蓄電池容量 65kWh

ソーラーカーポートの導入事例集 目次 (3)



<施設用途>

工場

事業所等

大学

リゾート施設

事務所等

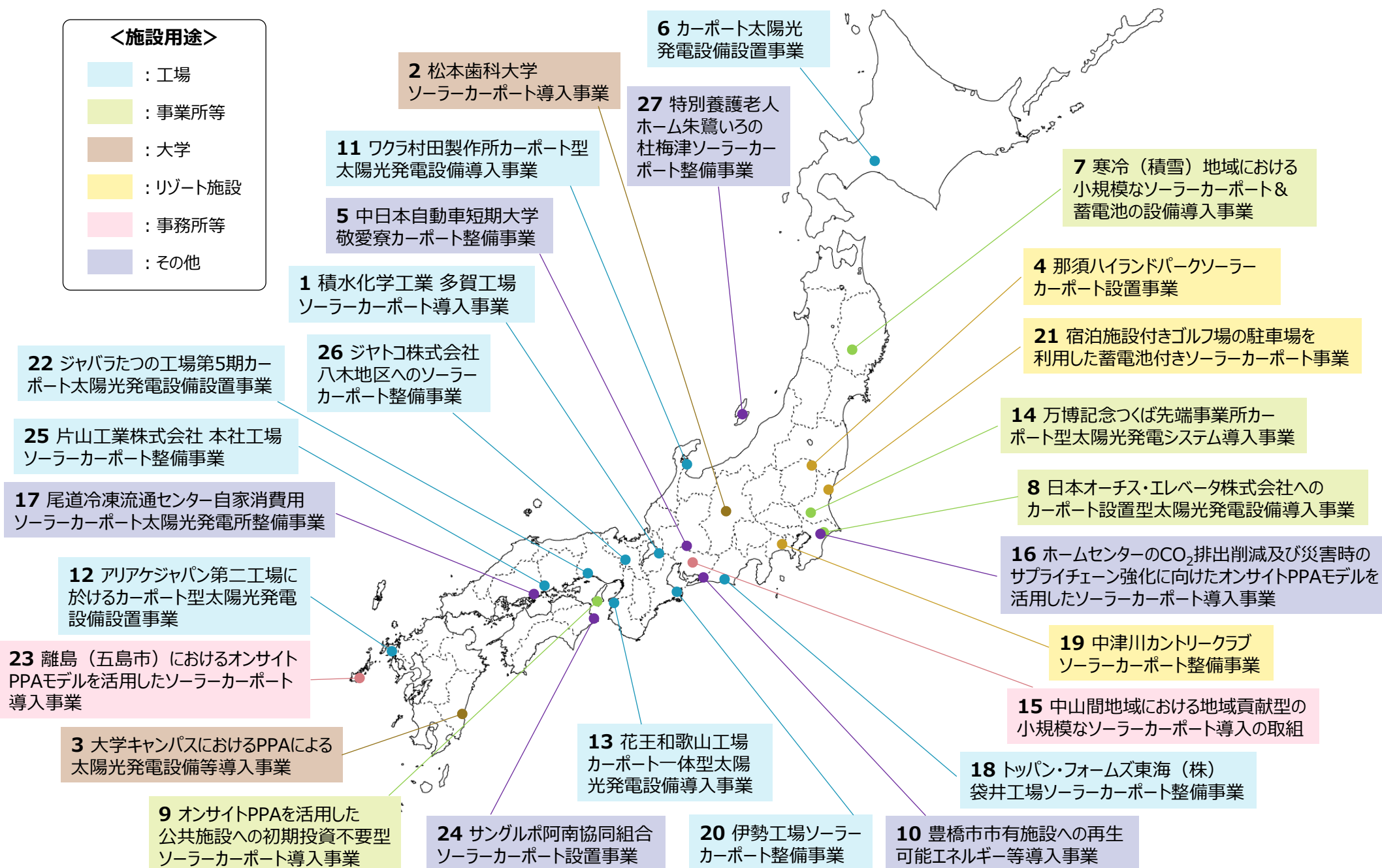
その他

No.	年度	取組名称	補助事業者名	所在地	施設用途	発電容量	設置 タイプ	導入方式	その他
22	R3	ジャバラたつの工場第5期カーポート太陽光 発電設備設置事業	株式会社ジャバラ	兵庫県たつの市	工場	太陽光パネル出力 204kW パワコン出力 200kW (駐車場 69台分)	搭載型	自己所有	
23	R3	離島（五島市）におけるオンサイトPPAモ デルを活用したソーラーカーポート導入事業	一般社団法人 離島エネルギー研究所	長崎県五島市	事務所等	太陽光パネル出力 6kW パワコン出力 6kW (駐車場 2台分)	搭載型	オンサイトPPA	
24	R5	サングルポ阿南協同組合 ソーラーカーポ ート設置事業	サングルポ阿南協同組合	徳島県阿南市	商業施設	太陽光パネル出力 395kW パワコン出力 338kW (駐車場128台分)	搭載型	自己所有	
25	R6	片山工業株式会社 本社工場 ソーラーカー ポート整備事業	ひろぎんリース株式会社	岡山県井原市	工場	太陽光パネル出力 743kW パワコン出力 610kW (駐車場 264台分)	搭載型	リースモデル	蓄電池容量 20.4kWh
26	R6	ジヤトコ株式会社八木地区へのソーラーカー ポート整備事業	株式会社関電エネルギーソ リューション	京都府南丹市	工場	太陽光パネル出力 1,061kW パワコン出力 894kW (駐車場 242台分)	搭載型	自己所有	
27	R6	特別養護老人ホーム朱鷺いろの杜梅津 ソーラーカーポート整備事業	社会福祉法人勇樹会	新潟県佐渡市	老人福祉 施設	太陽光パネル出力 59kW パワコン出力 55kW (駐車場 20台分)	搭載型	自己所有	

「ソーラーカーポートの導入事例集」に掲載されている取組場所

＜施設用途＞

- : 工場
- : 事業所等
- : 大学
- : リゾート施設
- : 事務所等
- : その他



積水化学工業 多賀工場ソーラーカーポート導入事業



事業概要

事業者	積水化学工業株式会社
所在地	滋賀県犬上郡多賀町大字四手字諏訪510-5
施設名(用途)	多賀工場
その他(特筆事項等)	自社の「SEKISUI環境サステナブルビジョン2050」に基づいて、多賀工場全体の再エネ比率0%である現状を、太陽光発電設備一体型のソーラーカーポートの導入により、再エネ比率7%に向上させることを目的とし実施した。

導入設備、事業の効果

発電容量	太陽光パネル出力 654kW パワコン出力 480kW	
設置タイプ	太陽光発電一体型（駐車場：248台分）	
電力使途	全量自家消費	
事業費	総事業費：13,295万円 （うち補助額：4,366万円 補助率：1/3）	
事業開始	2022年2月	
再エネ消費比率※	事業実施前：0%	事業実施後：7%
CO ₂ 削減効果	416t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	5%	

※事業者が日中の稼働時間を想定して算出した値

取組のきっかけ、課題/工夫点等

・ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ

自社のGHG排出削減や再エネ目標達成に向けて、多賀工場では工場敷地内の様々な場所に太陽光発電設備の導入を検討し、導入の第一ステップとして、技術面や採算性の面等から最も適した従業員用駐車場にソーラーカーポートを導入した。

・事業実施に当たって特に注意した点

積雪が多い地域であり、耐荷重や駐車場としての機能を考慮して設計した。

・副次的効果

夏場の車の高温防止や車への積雪を避けられることができた。従業員の環境意識向上やESG経営を進める顧客企業へのアピールにも繋がっている。

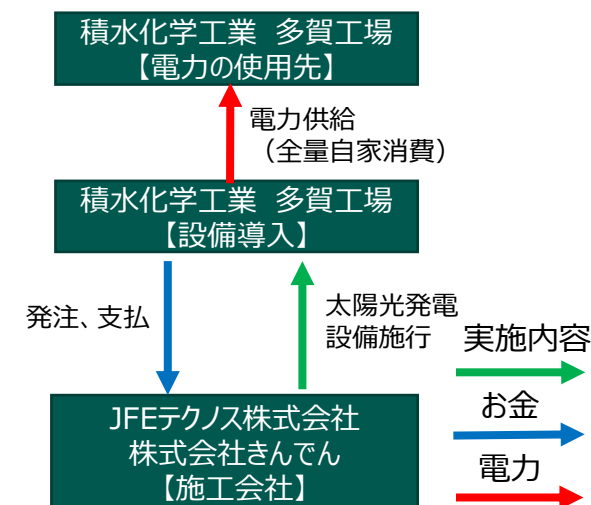
・その他

本事業が自社で初めてとなるソーラーカーポートの導入であり、本事業を契機に他工場での導入の検討されている。

完成写真、事業スキーム図



写真 ソーラーカーポート設置状況



出典：積水化学工業(株) 提供資料より

松本歯科大学 ソーラーカーポート導入事業

事業概要

事業者	学校法人松本歯科大学
所在地	長野県塩尻市広丘郷原1780
施設名(用途)	松本歯科大学
その他(特筆事項等)	平時には大学構内の各施設で全量自家消費しているほか、災害などによる停電時にはソーラーカーポートと同時に導入する蓄電池と自立運転型パワコンにより、特定負荷への電力供給を行う。 なお、学校法人松本歯科大学と大学が立地する塩尻市との間では、「災害時における施設の提供及びボランティア等の派遣に関する協定」を令和3年2月に締結しており、災害時などには塩尻市へ施設を提供するとともに、電力の供給も可能としている。

導入設備、事業の効果

発電容量	太陽光パネル出力 1,362kW パワコン出力 1,260kW 蓄電池容量 15kWh	
設置タイプ	太陽光発電一体型(駐車場: 506台分)	
電力用途	全量自家消費	
事業費	総事業費: 41,600万円 (うち補助額: 8,971万円 補助率: 1/3)	
事業開始	2022年8月	
再エネ消費比率※	事業実施前: 0%	事業実施後: 42%
CO ₂ 削減効果	923t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	26%	

※事業者が日中の稼働時間を想定して算出した値

取組のきっかけ、課題/工夫点等

・ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ

平成15年から大学ハイテクセンター壁面への太陽光パネルの設置や電気自動車充電インフラ整備のためのE V充電器の設置などの積極的な取り組みを行ってきた。将来的には「自然エネルギー100%」の大学を目指し、脱炭素社会の実現に貢献するため、本事業に取り組んだ。

・事業実施に当たって特に注意した点

工事進行にあたり、附属病院を有する医療系大学であるため、出入り業者への検査実施を徹底するなど、新型コロナウイルス感染防止対策に注意した。

また、ソーラーカーポートの色や配置が周辺の景観に調和するよう配慮した。

・工夫点

設置後に駐車台数が減少しないよう、施工方法を工夫した。駐車場利用者の安全を第一に、工事期間中の不便さを低減させるため、代替スペースの確保や周知を実施した。

完成イメージ図



出典: 学校法人松本歯科大学提供資料より

大学キャンパスにおけるPPAによる太陽光発電設備等導入事業（みずほリース株式会社）



事業概要

事業者	みずほリース株式会社
所在地	宮崎県
施設名(用途)	国立大学法人宮崎大学（2キャンパス）
本事業の特徴等	- 設備導入を行った宮崎大学では「大学の事務及び事業に伴い直接的または間接的に排出される温室効果ガスの総排出量を2030年度までに51%削減（2013年度比）することを目標」と定め、2050年の「カーボンニュートラル」の実現を目指すことを基本理念として掲げている。 - 本事業をこの目標を実現するための施策と位置付け、太陽光発電及び蓄電システムの導入により、大学内の2つキャンパスで施設全体の約2割程度の電力消費量を再エネ電力で賄うことを目的とする。

導入設備、事業の効果（2キャンパス合計）

発電容量	太陽光パネル出力	3,828kW
	パワコン出力	3,160kW
設置タイプ	一体型（駐車場 1,592台分）	
電力使途	キャンパス内建物にて自家消費	
事業費	非公表 （補助額：19,675万円（両キャンパス計） 補助率：1/3）	
事業開始	2024年2月	
再エネ比率※	事業実施前	約1%
	事業実施後	約20%
CO ₂ 削減効果	非公表	
施設のCO ₂ 削減率	約12%	

※2キャンパスの電気使用量に対する比率

取組のきっかけ、課題/工夫点等

・ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ：

国内の脱炭素化に向けた動きが加速する中、自社のみならずビジネスを通じて脱炭素社会への貢献を目指しており、本事業は既存の土地を有効活用しながら、大学の脱炭素化に貢献できる取組とのことから実施に至った。

・課題と工夫点：

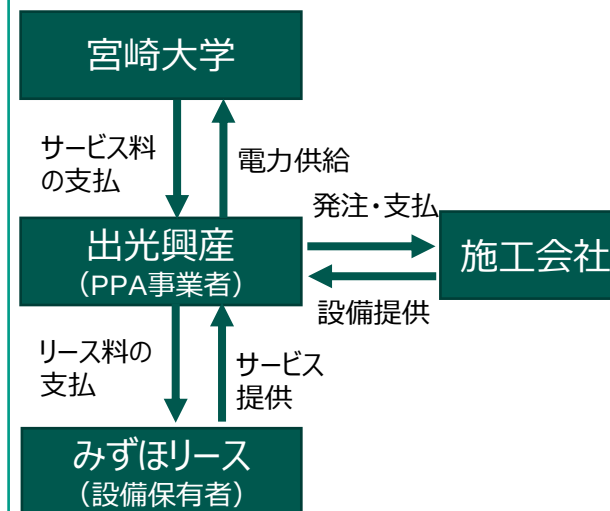
既設の駐車場への設置のため、施工期間中も学内教職員や学生が安全に駐車場を利用できるよう、区画整備、利用者への周知、安全対策などに十分配慮する必要があった。

両面受光型の太陽電池モジュールを採用することにより、より多くの発電量を確保できるよう工夫した。

・事業者の声：

夏場の車の高温化回避、雨天時の利便性向上など副次的効果にも期待している。また、将来を担う学生の環境意識向上にも寄与できれば嬉しく思う。

事業スキーム図、写真撮影



出典：みずほリース株式会社提供資料より

那須ハイランドパークソーラーカーポート設置事業（スマートグリーンエネルギー那須株式会社）



事業概要

事業者	スマートグリーンエネルギー那須株式会社
所在地	栃木県那須郡那須町高久乙3375
施設名(用途)	那須ハイランドパークお客様駐車場
本事業の特徴等	・本事業では広大なお客様駐車場の土地を活用したソーラーカーポートを設置することによるグリーンな電力供給と自家消費によって遊園地を運営することで、地産地消の循環型の持続可能な地域づくりを目指す。 ・本事業で効果が見込めれば、よりスケールアップを狙い将来的には完全な脱炭素化と循環型の体制を目指す。また、地元の自治体である那須町とも災害連携協定を連結しており、災害時には自家発電と自家消費による安全・快適な避難所の環境を提供することを目指す。

導入設備、事業の効果

発電容量	太陽光パネル出力 476kW パワコン出力 449kW	
設置タイプ	一体型（駐車場128台分）	
電力用途	那須ハイランドパークにて100%自家消費	
事業費	総事業費：12,160万円 （うち補助額：4,047万円 補助率：1/3）	
事業開始	2024年4月	
再エネ消費比率	事業実施前：0%	事業実施後：33.95%
CO ₂ 削減効果	285t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	26.53%（削減量 972.34t-CO ₂ /年）	

取組のきっかけ、課題/工夫点等

・ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ：

那須ハイランドパークは環境負荷低減を目指して「那須グリーンハイランド構想」を掲げ、間伐材を活用したバイオマス発電・発熱による、宿泊事業における電気と熱の自家供給を実現した。本事業においては、お客様駐車場を活用したソーラーカーポートを設置することによりグリーンな電力供給と自家消費によって遊園地を運営し、地産地消の循環型の持続可能な地域づくりに貢献しようと考えた。

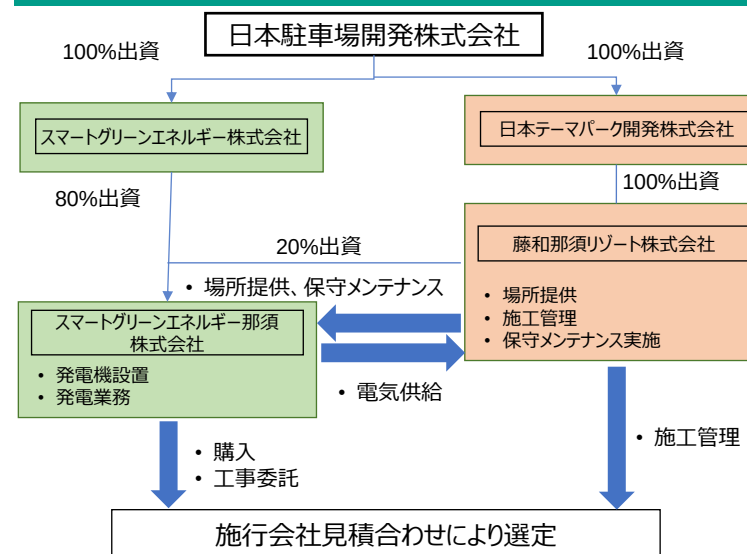
・課題と工夫点：

カーポート架台設置の際に地面より巨岩が多数発見され、工期が大幅に遅延した。工事の人員増加により対応した。

事業者の声：

今回の知見を活かし、当社グループ会社が運営する他のテーマパーク等にもソーラーカーポートを導入し、グループ全体でのCO₂削減、再エネ化を進める。

事業スキーム図



出典：スマートグリーンエネルギー那須株式会社提供資料より

中日本自動車短期大学 敬愛寮カーポート整備事業



事業概要

事業者	学校法人神野学園
所在地	岐阜県加茂郡坂祝町黒岩428番地
施設名(用途)	中日本自動車短期大学 敬愛寮
本事業の特徴等	
- 中日本自動車短期大学の学生寮である敬愛寮の駐車場に、一体型ソーラーカーポートおよび、定置用蓄電池、充放電機器を設置した。 - 当該施設においてはEVの教育の実施や、ガソリンエンジン車両のEVコンバート実習を行う等、再生エネルギー型教育拠点とし、また、坂祝町との防災協定により避難施設として、停電時には当該設備とEVを利用した電力供給も予定している。 - 当該施設への電力供給（自家消費）によるCO₂削減の他、EVとの関連付け、ソーラーパネル、パワーコンディショナー、蓄電池、充放電設備の仕組みを学生に学ばせる。また、地域の小中学生総合学習としてSDGs教育にも活用する。	

導入設備、事業の効果

発電容量	太陽光パネル出力 18kW パワコン出力 10kW	
設置タイプ	一体型（駐車場6台分）	
電力用途	全量自家消費	
事業費	総事業費：924万円 （うち補助額：321万円 補助率：1/3）	
運転開始	2023年2月	
再エネ比率※	事業実施前：0%	事業実施後：25%
CO ₂ 削減効果	10t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	非公表	

備考）※再エネ比率：事業者が日中の稼働時間を想定して算出した値

取組のきっかけ、課題/工夫点等

- ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ：**
自動車業界がEV化に進む中、EVへの電力供給も再生可能エネルギーを利用する流れになってきている。このような背景から、EV・SDGsの教育と防災とを組み合わせた施設を作ることが事業のきっかけとなった。
- 課題と工夫点：**
施設の電気使用量に対し供給量（再エネ比率）が少ない点、教育の場としての具体的利用方法の検討が課題である。
- 事業者の声：**
今回の事業の効果（CO₂削減効果、教育への反映の効果、地域への貢献等）を検証した結果、大きな効果が表われた場合は、当該施設での追加設置や他施設での設置について検討したいと考えている。

事業スキーム図



出典：学校法人神野学園提供資料より

カーポート太陽光発電設備設置事業（株式会社ダイナックス 千歳工場）

事業概要

事業者	株式会社ダイナックス 千歳工場
所在地	北海道千歳市上長都 1 0 5 3 番地 1
施設名(用途)	千歳工場
本事業の特徴等 ・本事業は、千歳工場へ太陽光パネル出力1,006kW、パワコン出力782kWのソーラーカーポート設備を導入し、施設内年間消費電力量の約20%（昼間）の電力を賄い、年間595t-CO ₂ の削減を見込んでいる。 ・自立運転機能付のPCSを導入し、災害時にはLED照明やスマホ充電を可能とすることで情報収集や通信手段の確保を図る。 ・2003年にガスコージェネレーションシステム導入（第1回北海道省エネルギー促進大賞受賞）、2023年には弊社内保育施設「ダイナックスこどもくらぶ」に太陽光発電設備を導入し、保育施設の全電力を再エネで賄う。	

導入設備、事業の効果

発電容量	太陽光パネル出力 1,006kW パワコン出力 782kW	
設置タイプ	一体型（駐車場356台分）	
電力用途	千歳工場で自家消費、余剰分は蓄電を検討中	
事業費	総事業費：22,196万円 （うち補助額：6,532万円 補助率：1/3）	
事業開始	2023年8月	
再エネ消費比率	事業実施前：3.6%	事業実施後：15.8%
CO ₂ 削減効果	595t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	12%	

取組のきっかけ、課題/工夫点等

・ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ：

「未来を今に」という企業スピリットを基に、長年省エネ・脱炭素の取組を行ってきた。次の取組として、本事業では千歳工場へソーラーカーポート設備を導入し、施設内年間消費電力量の約20%（昼間）の電力を賄い、温室効果ガス排出量の削減を目指すことにした。

・課題と工夫点：

カーポートは、積雪に対して強度を確保するために4本足とし、両面パネルを採用するために一体型とした。また、雪が落ちるスペースを確保するために各カーポートの間を離し、落ちた雪が自動車に当たらないように網を設置した。

・事業者の声：

カーボンニュートラルを進める上で、駐車場を有効活用できた。
「帰宅時に車の雪下ろしをしなくて良い」などの従業員の声が寄せられており、福利厚生面からも好評である。

完成写真



寒冷（積雪）地域における小規模なソーラーカーポート&蓄電池の設備導入事業



事業概要

事業者	株式会社キヤナギ重機
所在地	岩手県北上市鬼柳町宿77番地3
施設名(用途)	株式会社キヤナギ重機駐車場
本事業の特徴等	
- 株式会社キヤナギ重機の事業所駐車場にソーラーカーポートを設置し、発電した電気で事業所内の電力を賄うとともに、余剰分を貯めた蓄電池の電気を夜間や発電の少ない時間帯に使用することによりピークシフトを行い、CO₂排出削減に努める。 - 更なる余剰分はEV（電気自動車）へ充電することにより、環境への負荷を減らす。 - 災害時には事業所への給電の他、地域住民の避難場所として携帯電話や小型家電の非常用電源として活用する。	

導入設備、事業の効果

発電容量	太陽光パネル出力 12kW パワコン出力 10kW 蓄電池容量 13kWh	
設置タイプ	一体型（駐車場4台分）+ 蓄電池	
電力使途	株式会社キヤナギ重機にて自家消費、余剰分はEVへの充電	
事業費	総事業費：655万円 （うち補助額：197万円 補助率：1/3）	
運転開始	2023年1月	
再エネ比率※	事業実施前：0%	事業実施後：90%
CO ₂ 削減効果	6t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	非公表	

備考）※再エネ比率：2022年1月～12月の発電量を基に、積雪期間2カ月を想定して算出

取組のきっかけ、課題/工夫点等

- ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ：**
 SDGsが叫ばれる昨今、弊社のような小規模な事業所が取り組めるものは何かと考えた時、まずグリーンエネルギーが思い浮かんだ。既存屋根へのパネル設置は建物の老朽化により難しいことから、事業場駐車場へのソーラーカーポート新設を考えた。
- 課題と工夫点：**
 将来的に近隣への建物新設により日陰になる恐れのない場所へ設置した。また、積雪地域であることから、太くて頑丈な柱を採用した。
- 事業者の声：**
 野立てや屋根上のパネル設置と違い、外観を損なわずに発電とカーポート両方の機能を満たすため街に馴染み、駐車場（土地）の有効活用が可能である。将来EV化が進んだ際、従業員が就業中に充電できるといった効果も期待できる。

完成写真



写真：ソーラーカーポート設置場所



出典：株式会社キヤナギ重機提供資料より

日本オーチス・エレベータ株式会社へのカーポート設置型太陽光発電設備導入事業



事業概要

事業者	みずほ丸紅リース株式会社
所在地	千葉県山武郡芝山町小池2700-1
施設名(用途)	日本オーチス・エレベータ株式会社 ロジスティクス&エンジニアリングセンター
本事業の特徴等 本事業ではみずほ丸紅リース株式会社が発電事業者となり、日本オーチス・エレベータ株式会社ロジスティクス&エンジニアリングセンターの駐車場にソーラーカーポートを設置した。また、ソーラーカーポートより発電した電力は全量、日本オーチス・エレベータ株式会社へ供給している。	

導入設備、事業の効果

発電容量	太陽光パネル出力 555kW パワコン出力 454kW	
設置タイプ	一体型（駐車場197台分）	
電力使途	日本オーチス・エレベータ株式会社ロジスティクス&エンジニアリングセンターにて自家消費。	
事業費	非公開	
事業開始	2023年4月	
再エネ比率※	事業実施前：22%	事業実施後：46%
CO ₂ 削減効果	非公開	
施設のCO ₂ 削減率	21%	

備考）※再エネ比率：事業者が日中の稼働時間を想定して算出した値

取組のきっかけ、課題/工夫点等

・ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ：

日本オーチス・エレベータはオーチスのグローバルESG方針 (<https://www.otis.com/en/us/our-company/esg>)に則り、2030年までに工場の電力のカーボンニュートラルを掲げており、その一環として本取組を実施。

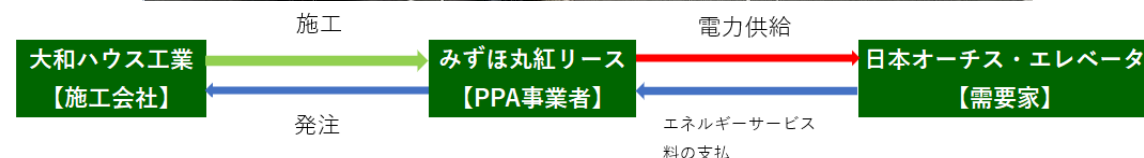
・工夫点：

両面パネルを導入することで、発電効率の最大化を図った。また、工事期間中は区画を分けて工事を行うことで、従業員の利便性が落ちないように配慮した。

・事業者の声：

ソーラーカーポートは、屋根の設置と異なり、直接目にすることができるため、日本オーチスの社員はもちろん社外の方に向けて、再生可能エネルギーの導入促進に取り組んでいることを伝えることができた。今後もソーラーカーポートPPAの取り組みを広げていきたい。

完成写真、事業スキーム図



出典：みずほ丸紅リース株式会社、日本オーチス・エレベータ株式会社 提供資料より

オンサイトPPAを活用した公共施設への初期投資不要型ソーラーカーポート導入事業

事業概要

事業者	ひょうご環境エネルギー合同会社
所在地	兵庫県南あわじ市八木養宜中560-1
施設名(用途)	兵庫県立農林水産技術総合センター 淡路農業技術センター
本事業の特徴等 - 本事業は、兵庫県南あわじ市にある県立の淡路農業技術センターに対して、駐車場に設置するソーラーカーポートで発電した再生可能エネルギー電力を供給する事業である。 - 淡路農業技術センターの職員・来客用の駐車場として利用しているスペースを有効活用し、温室効果ガスの削減となる再生可能エネルギーを供給する。また、今回は需要家である地方公共団体が初期投資なく（PPA）、需要家の電気料金単価をできる限り下げた長期固定の料金設定となっている。	

導入設備、事業の効果

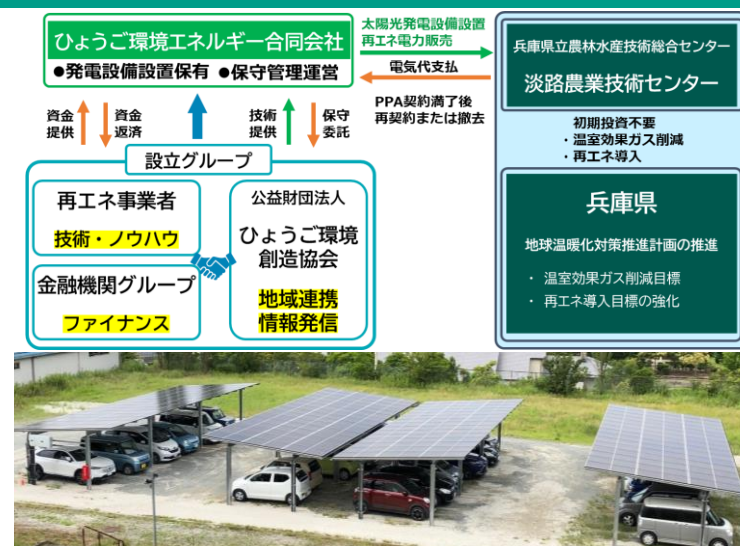
発電容量	太陽光パネル出力 53kW パワコン出力 50kW	
設置タイプ	一体型（駐車場18台分）	
電力用途	淡路農業技術センターにて自家消費	
事業費	総事業費：1,690万円 （うち補助額：501万円 補助率：1/3）	
運転開始	2023年7月	
再エネ比率※	事業実施前：0%	事業実施後：32%
CO ₂ 削減効果	20t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	18%	

備考）※再エネ比率：日中の稼働時間を想定して算出した値

取組のきっかけ、課題/工夫点等

- ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ：**
地球温暖化対策推進計画の①温室効果ガス削減と②再生可能エネルギー導入拡大を県立施設で推進するにあたり、兵庫県が予算措置を伴わずに実施できるPPA方式によるプロポーザルを実施した。公共施設が有する駐車場が再生可能エネルギーの適地であると同時に施設利用者の利便性向上に資することを示し、県内自治体等に向けたモデル事業とした。
- 課題と工夫点：**
地方公共団体の施設の一部を使用するため、目的外使用許可と長期継続契約が必要となることから、県の関係規定に沿った実施方法とした。
- 事業者の声：**
公共施設の予算を必要とせずに温室効果ガスの削減が実現できるとともに、エネルギーコストの増加が見込まれる中でリスク回避になると賛同されている。今後、他の施設や自治体への働きかけを強化していく。

事業スキーム図



出典：ひょうご環境エネルギー合同会社提供資料より

豊橋市市有施設への再生可能エネルギー等導入事業（大和リース株式会社）



事業概要	
事業者	大和リース株式会社
所在地	愛知県豊橋市大岩町字大穴1-238
施設名(用途)	豊橋総合動植物公園
本事業の特徴等	
・自家消費型の太陽光発電設備を導入することにより、地域の再エネ主力化とレジリエンス向上を図り、2050年カーボンニュートラルなグリーン社会の実現を強力に推進することを目的とする。 ・対象施設の駐車場にカーポート型太陽光を設置、発電した電力は施設のキュービクルに送る。また自立運転式PCSの導入により、停電時の電力供給が可能となる。	

導入設備、事業の効果		
発電容量	太陽光パネル出力 992kW パワコン出力 885kW	
設置タイプ	一体型（駐車場355台分）	
電力使途	豊橋総合動植物公園にて自家消費	
事業費	総事業費：27,364万円 （うち補助額：7,923万円 補助率：1/3）	
事業開始	2024年4月	
再エネ消費比率	事業実施前：0%	事業実施後：40%
CO ₂ 削減効果	406t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	40%	

取組のきっかけ、課題/工夫点等
・ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ： 弊社は2012年より太陽光発電事業に取り組んでおり、野立て、屋根置き等様々な案件に取り組んでまいりました。新たな取り組みとして駐車場を有効活用できるソーラーカーポートによる太陽光発電事業に取り組んでおります。 ・課題と工夫点： 営業中の施設での工事になりますので、可能な限り駐車台数に影響がないよう、施設側と協議を重ね、工期を調整していきました。 ・事業者の声： 現状、屋根置きと比べコストが大きく、補助金がないと取組が難しいため、今後も補助金については継続頂きたいと考えます。 夏場に駐車した車の高温化防止に期待している。また、雨天時も雨除けとして利用いただくことを期待している。

豊橋市
【電力の供給需要家】

大和リース株式会社
【PPA事業者】

エネルギーサービス料の支払い
 電力供給
 設備譲渡（PPA契約期間満了後）

ワクラ村田製作所カーポート型太陽光発電設備導入事業

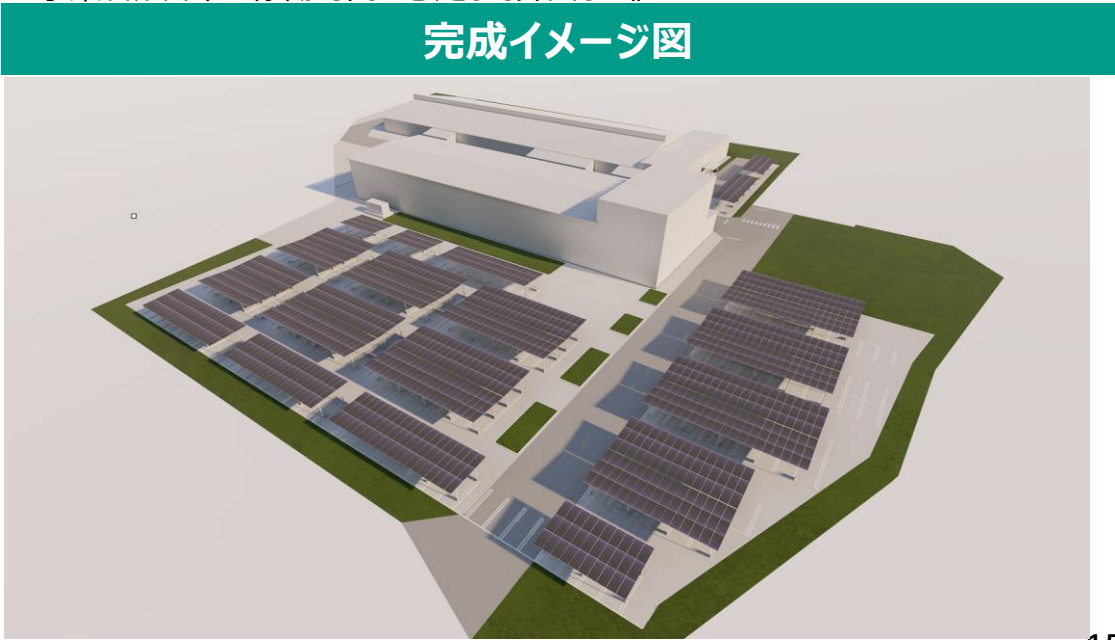


事業概要	
事業者	株式会社ワクラ村田製作所
所在地	石川県七尾市石崎町ウ部 1 番地
施設名(用途)	ワクラ村田製作所
その他（特筆事項等） 地域貢献事業と位置付けて近隣小学校を対象とした環境学習にて設備導入効果を公開し環境教育の一助とすることや、当設備をモデルケースとしてムラタグループ他事業所へ設備導入推進を図ることを事業の副次的な目的としている。	

導入設備、事業の効果		
発電容量	太陽光パネル出力 695kW パワコン出力 550kW	
設置タイプ	太陽光発電一体型（駐車場：約200台分）	
電力使途	全量自家消費	
事業費	総事業費：約17,300万円 （うち補助額：約5,000万円 補助率：1/3）	
事業開始	2023年1月	
再エネ消費比率※	事業実施前：0%	事業実施後：21%
CO ₂ 削減効果	372t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	11%	

※事業者が日中の稼働時間を想定して算出した値

取組のきっかけ、課題/工夫点等
- ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ 村田製作所グループは、持続可能な脱炭素社会の実現と気候変動によるリスク管理の観点から、重点課題に「気候変動対策の強化」を掲げて組んでいる。中でもRE100の加盟やSBT認定を取得しており、積極的な設備投資での再エネ拡大を推進している。 - 工夫点 約200台分のカーポートには、北陸地方の気象条件および同社の立地場所を考慮し、積雪塩害対応架台と両面発電パネルを採用し、安全に効率良く発電可能なシステムとした。また、パネルを屋根とする屋根材が不要な架台によりコスト削減を図ると共に採光性も持たせた。 - 課題 今後は、自社製蓄電池の導入による再エネ電力利用の最大化を検討予定である。



出典：(株) ワクラ村田製作所提供資料より

アリアケジャパン第二工場に於けるカーポート型太陽光発電設備設置事業



事業概要	
事業者	JA三井リース株式会社
所在地	長崎県北松浦郡佐々町小浦免1572-21
施設名(用途)	アリアケジャパン株式会社第二工場
その他（特筆事項等） 本事業は本事業はリースを利用したPPA事業であり、共同事業者2社を含む3社で実施している。各社の役割は右下の「事業スキーム図」のとおりである。 事業の副次的な効果として、工場立地法の緑地面積の割合が5%緩和され、事業用地として活用できるようになった。 なお、アリアケジャパン第一工場でも上記体制にて同じ補助事業を活用した同様の取組を実施している。	

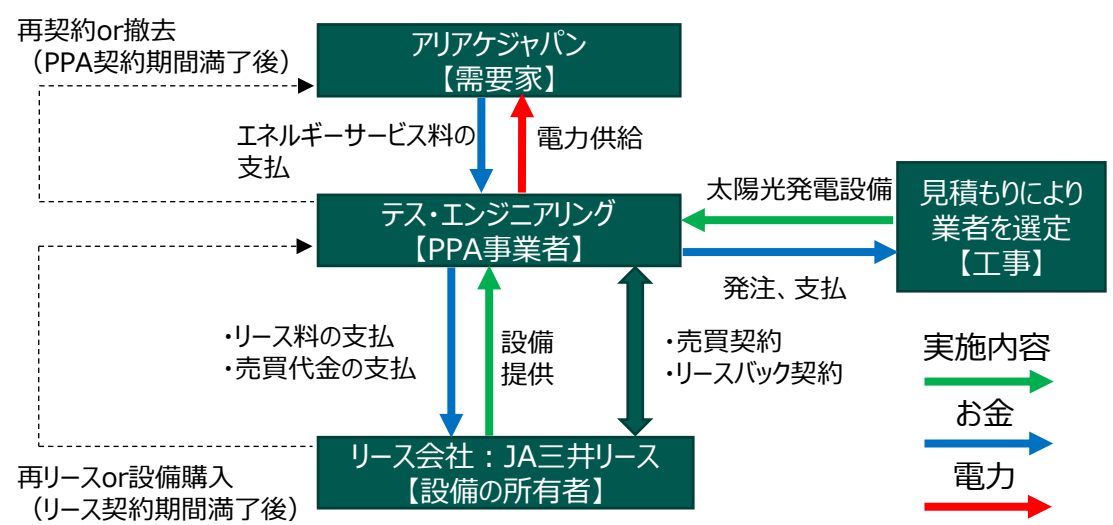
導入設備、事業の効果		
発電容量	太陽光パネル出力 1,422kW パワコン出力 1,197kW	
設置タイプ	太陽光発電一体型（駐車場：426台分）	
電力使途	全量自家消費	
事業費	総事業費：23,287万円 （うち補助額：7,762万円 補助率：1/3）	
事業開始	2022年5月	
再エネ消費比率※	事業実施前：0%	事業実施後：10%
CO ₂ 削減効果	970t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	3%（2019年度比）	

※事業者が日中の稼働時間を想定して算出した値

取組のきっかけ、課題/工夫点等

- ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ**
 アリアケジャパンは、100%再エネ電力の調達など工場の再エネ比率向上に積極的に取り組む中、テス・エンジニアリングとJA三井リースから自家消費スキームの提案を受け、かつ、カーポートという新しい発電手法でもあったことから、導入検討を始めた。
- 事業実施に当たって特に注意した点**
 施工期間中、駐車場が一時的に使用不可になるため、近隣の土地に駐車場を借りるなど従業員の利便性が落ちないように配慮した。
- 工夫点**
 施工業者にとって太陽光パネルのカーポートへの設置は初めての取り組みであり、施工方法の確立に苦労した。
- 事業者の感想**
 土地を有効活用して再エネ比率向上に貢献できる。また、毎日使用する施設（駐車場）で再エネ発電する取り組みであるため、従業員の脱炭素への意識向上にも役立つものと期待している。

事業スキーム図



出典：JA三井リース(株)提供資料より作成

花王和歌山工場 カーポート一体型太陽光発電設備導入事業



事業概要	
事業者	花王株式会社
所在地	和歌山市湊 1 3 3 4
施設名(用途)	花王株式会社 和歌山工場
その他（特筆事項等） 花王グループ脱炭素目標2040年カーボンゼロ、2050年カーボンネガティブ達成へ向けて導入するとともに、和歌山工場内見学施設である花王エコラボミュージアムを通じて、和歌山市と連携協定を締結しているSDGs推進活動の一環として、環境活動の周知に貢献している。	

導入設備、事業の効果		
発電容量	太陽光パネル出力 576kW パワコン出力 500kW	
設置タイプ	太陽光発電一体型（駐車場：146台分）	
電力使途	全量自家消費	
事業費	総事業費：150,000万円 （うち補助額：48.900万円 補助率：1/3）	
事業開始	2022年7月	
再エネ消費比率※	事業実施前：0.1%	事業実施後：0.9%
CO ₂ 削減効果	409t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	0.3%	

※事業者が日中の稼働時間を想定して算出した値

取組のきっかけ、課題/工夫点等
・ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ SBT1.5℃目標署名及びRE100加盟により、再生可能エネルギー化をさらに推進していくため ・事業実施に当たって特に注意した点 両面パネルの屋根材採用(建築)及びソーラーカーポートの景観規制(条例)法対応について協議を重ね課題を解決 ・課題と工夫点 ■両面パネルの屋根材採用による発電効率最大化、パネル長寿命化への挑戦 ■想定を超える自然災害への(風害、水害)備えとして、設計について独自基準を制定し、安全対策強化を実施 ・事業者の感想 他工場・拠点等へ横展開推進及びEV充電設置検討予定

完成写真



出典：花王(株) 提供資料より

万博記念つくば先端事業所カーポート型太陽光発電システム導入事業



事業概要		導入設備、事業の効果	
事業者	株式会社フジキン	発電容量	太陽光パネル出力 854kW パワコン出力 800kW
所在地	茨城県つくば市御幸が丘 1 8	設置タイプ	太陽光発電一体型（駐車場：256台分）
施設名(用途)	万博記念つくば先端事業所	電力使途	全量自家消費
その他（特筆事項等）		事業費	総事業費：23,526万円 （うち補助額：7,819万円 補助率：1/3）
創業91年を迎える特殊精密バルブ等の製造メーカーであり、CSR活動やSDGsの取組に積極的に取り組んでいる。本事業はソーラーカーポートの電力を工場内で使用するとともに、太陽光発電の特性を活かして電力使用のピークカットにも寄与させることを目的として実施した。		事業開始	2022年2月
		再エネ消費比率※	事業実施前：5% 事業実施後：15%
		CO ₂ 削減効果	598t-CO ₂ /年
		施設のCO ₂ 削減率	10%
		※事業者が日中の稼働時間を想定して算出した値	

取組のきっかけ、課題/工夫点等
・ ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ 万博記念つくば先端事業所では、ゼロエミッションを目指した工場運営を行っており、その具体的取組の一つとして、自家消費型太陽光システム導入による再エネの普及拡大に取り組んでおり、その一環として実施した。 ・ 事業実施に当たって特に注意した点 ソーラーカーポートから変電設備まで距離があることから、発電した電力を工場内バスダクトに接続して自家消費するシステムの新規導入を行った。 ・ 課題と工夫点 2023年度には蓄電池も導入し、行政とも連携して災害時にも太陽光発電システムを活用し、防災活動にも役立てることを検討している。 ・ 副次的効果 ソーラーカーポートは屋上設置に比べて直接目視できるため、社内従業員の意識向上や社外利用者への再エネの取組の発信につながった。 今後、本導入事業について自社配信のメールマガジンやグループ情報誌等を通じてPRし、事業の波及性を高めていきたい。

完成写真

出典：(株)フジキン 提供資料より

中山間地域における地域貢献型の小規模なソーラーカーポート導入の取組



事業概要	
事業者	株式会社M－e a s y
所在地	愛知県豊田市旭八幡町堂山 4 3 2－3
施設名(用途)	つくラッセル（事務所等）
その他（特筆事項等） 本事業は、豊田市の中山間地域において、廃校を活用した地域の活動拠点（コアオフィス）として利用する地域貢献を目的とした施設を対象に、小規模なソーラーカーポートを導入した事業である。また、災害時は災害対策拠点にも位置付けられており、地域の防災力強化にも貢献する取組である。 今後は、豊田市が実施する中山間地での“里モビプロジェクト”（電動小型モビリティの地域内共同利用）等のEV充電と連動させるなど、更なる地域貢献につなげていくことを検討している。	

導入設備、事業の効果		
発電容量	太陽光パネル出力 12kW パワコン出力 11kW	
設置タイプ	太陽光発電一体型（駐車場4台分）	
電力用途	全量自家消費	
事業費	総事業費：271万円 （うち補助額：82万円 補助率：1/3）	
事業開始	2021年度	
再エネ消費比率※	事業実施前：0%	事業実施後：92%
CO ₂ 削減効果	6t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	（非公表）	

※事業者が日中の稼働時間を想定して算出した値

取組のきっかけ、課題/工夫点等
ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ： 当社が取り組む地域貢献型事業を通じて、CO₂削減を行いつつ同時に地域の防災力強化に資する取組として実施した。 副次的効果： ソーラーカーポートの認知度は低く、施設利用/訪問者等の地域の人々に興味をもっていただける良いきっかけづくりになっている。（普及啓発効果） 事業者の声： 本事業は規模こそ小さいものであるが、ソーラーカーポートは屋根への負荷も少なく、中山間地域の老朽化が進む中小施設等においても比較的容易に導入できることから、本件がそのモデルケースとなり今後の波及効果が期待できる。



出典：(株)M－e a s y 提供資料より

ホームセンターのCO₂排出削減及び災害時のサプライチェーン強化に向けた オンサイトPPAモデルを活用したソーラーカーポート導入事業



事業概要

事業者	株式会社 afterFIT
所在地	千葉県八街市八街ほ734
施設名(用途)	ケーヨーデイツー 八街店（商業施設）
その他（特筆事項等）	同社が運営するホームセンター「ケーヨーデイツー八街店」敷地内の駐車場の一部に、当社が発電事業者（PPA事業者）となってソーラーカーポートを設置した。 発電した電力利用に加え新たにカーポートが設置できたため、お客様の駐車場利用の利便性の向上に役立っている。 また、停電時の同施設の事業継続性の向上とともに、再生可能エネルギーを活用した地域大型流通拠点のモデルケースとして、災害時における地域インフラ整備に寄与している。

導入設備、事業の効果

発電容量	太陽光パネル出力 234kW パワコン出力 210kW	
設置タイプ	太陽光発電一体型（駐車場82台分）	
電力使途	全量自家消費	
事業費	（非公表）	
事業開始	2021年12月	
再エネ消費比率	事業実施前：0%	事業実施後：54%
CO ₂ 削減効果	147t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	42%	

取組のきっかけ、課題/工夫点等

- ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ：**（下記3点の実現に努める）
 - ①平時における温室効果ガス排出の抑制
 - ②カーポート設置による、雨天時などの駐車場利用の利便性向上
 - ③災害等の非常時において必要最低限な店舗運営が可能なエネルギーの供給（BCP対策の一環）
- 事業実施に当たって特に注意した点：**

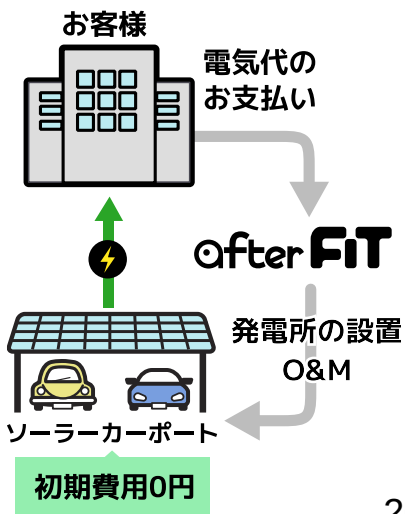
災害等の非常時の店舗営業では、パワーコンディショナーをPOSシステム用コンセント及び非常用コンセントとして活用する設計としている。
- 課題と工夫点：**

前方に支柱のない「片持ち」施工で駐車しやすいカーポート施工を実現した。当該事業により、同社他店舗で当該スキームの水平展開が期待できる。

完成写真、事業スキーム図



写真 ソーラーカーポート設置状況



出典：(株) afterFIT提供資料より

尾道冷凍流通センター自家消費用ソーラーカーポート太陽光発電所整備事業



事業概要	
事業者	日本生活協同組合連合会
所在地	広島県尾道市美ノ郷町本郷1番1号
施設名(用途)	尾道冷凍流通センター
本事業の特徴等	
・日本生協連グループの再エネ開発目標達成の一環として、既存の物流施設の屋上に太陽光発電設備を設置して運用しているが、本事業では、さらなる発電容量増大を目指して、物流施設の社員用駐車場を活用したソーラーカーポート導入による自家消費型の太陽光発電設備を設置した。 ・『生協』全体として、2030年に年間発電量4億kWh／設備容量200MWを目指して、各生協ごとに取組をすすめている。	

導入設備、事業の効果		
発電容量	太陽光パネル出力 987kW パワコン出力 850kW	
設置タイプ	太陽光発電一体型（駐車場356台分）	
電力用途	全量自家消費	
事業費	総事業費：25,650万円 （うち補助額：8,217万円 補助率：1/3）	
運転開始	2023年1月	
再エネ比率※	事業実施前：0%	事業実施後：42%
CO ₂ 削減効果	671t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	非公表	

備考）※再エネ比率：事業者が日中の稼働時間を想定して算出した値

取組のきっかけ、課題/工夫点等
・ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ： ①2012年より全国の7物流事業所屋上等にFITによる太陽光発電事業を開始。②2019～2物流事業所にて自家消費による太陽光発電事業を開始。③尾道冷凍流通センターには屋根に太陽光を設置する場所がないため、駐車場利用の「自家消費型ソーラーカーポート太陽光発電事業」に取り組むことで、日本生協連の再エネ目標達成に貢献することを目的とした。 ・課題と工夫点： ①従業員駐車場に設置するため工事期間中に仮駐車場を別途手配した。 ②カーポートの設置に伴い既設照明が暗くなることを考慮して、追加で照明を設置することが必要になった。 ③カーポート架台柱への接触事故を防止するため、架台柱にゼブラカラーテープを貼り付けて注意を促したり、追突防止から保護するパイプ設置を検討した。 ・事業者の声： 敷地内で発電した再エネ電力を自家消費することができたことに加え、電力料金の負担も軽減された。

完成写真




写真：ソーラーカーポート設置場所

出典：日本生活協同組合連合会提供資料より

トッパン・フォームズ東海（株）袋井工場 ソーラーカーポート整備事業



事業概要	
事業者	(株) 中電Loop Solar
所在地	静岡県袋井市豊沢2228番地の1
施設名(用途)	トッパン・フォームズ東海（株）袋井工場
本事業の特徴等	
本事業は、トッパン・フォームズ東海(株)袋井工場の駐車場にソーラーカーポートを設置し、発電した電力を当該工場で全量自家消費するものである。事業内容はオンサイトPPAであり、事業体制は(株)中電Loop Solar（PPA事業者）、中部電力ミライズ(株)（共同事業者）、トッパン・フォームズ東海(株)（需要家）の3社体制としている。	

導入設備、事業の効果		
発電容量	太陽光パネル出力：1,059kW パワコン出力：700kW	
設置タイプ	ソーラーカーポート（一体型） 駐車場314台分	
電力使途	トッパン・フォームズ東海（株）袋井工場にて全量自家消費	
事業費	－（補助率：1/3）	
運転開始	2023年1月	
再エネ比率※	事業実施前：0%	事業実施後：5.2%
CO ₂ 削減効果	736t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	5.2%	

取組のきっかけ、課題/工夫点等
・ ソーラーカーポート事業の取組のきっかけ カーボンニュートラルに向けて多様化するお客さまニーズにお応えするため、これまで提供していった太陽光発電の屋根置きオンサイトPPAサービスの実績とノウハウを活かし、ソーラーカーポートの事業を開始することとした。 ・ 課題/工夫点 既存駐車場の車幅に合わせて設置可能な4本脚タイプを採用し、最適な配置設計としている。施工中の駐車場確保、工期を踏まえ、作業区域を分割して施工した。 ・ 事業者の声 2050年のカーボンニュートラルなグリーン社会の実現に向けて、本事業を契機に中部地域をはじめ、全国を対象としてソーラーカーポート設備の普及を推進し、脱炭素社会の実現へ貢献していく。

完成写真、事業スキーム図

トッパン・フォームズ東海株式会社
【施設の所有者／需要家】
－共同事業者－

サービス料金の支払
↓
中部電力ミライズ株式会社
【PPA事業者】
－共同事業者－

中部電力ミライズ株式会社
【PPA事業者】
－共同事業者－
↓
株式会社中電Loop Solar
【設備の所有者】
－代表事業者－

株式会社中電Loop Solar
【設備の所有者】
－代表事業者－
↓
株式会社Loop
【工事会社】

契約満了後、設備の譲渡について協議

契約満了後、設備の譲渡について協議

発注支払
↓
太陽光発電設備

・サービスの提供
・サービス料金の請求

・サービスの提供
・サービス料金の請求

設置後のメンテナンス

写真 ソーラーカーポート設置状況

出典：(株)中電Loop Solar 提供資料より

22

中津川カントリークラブ ソーラーカーポート整備事業
(株式会社Sustechエンジニアリングサービス)



事業概要

事業者	株式会社Sustechエンジニアリングサービス
所在地	神奈川県厚木市中荻野字細谷1941-1 (促進区域)
施設名(用途)	中津川カントリークラブ
本事業の特徴等	
・本事業では、「脱炭素」や「価格が安定した再エネ電力の調達」を目的としたカーポートタイプの自家消費型太陽光発電設備を活用したオンサイトPPAによる電力供給を行う。 ・ゴルフクラブは、基本的に太陽が出ている時間帯に営業し、土日祝日も関係なく営業しているため、太陽光発電設備を用いたオンサイトPPAと非常に相性が良く、発電した電気を有効に活用できると考えている。	

導入設備、事業の効果

発電容量	太陽光パネル出力	159kW
	パワコン出力	155kW
設置タイプ	一体型 (駐車場 60台分)	
電力用途	ゴルフクラブハウスにて自家消費	
事業費	非公表	
事業開始	2025年3月 (予定)	
導入方式	オンサイトPPA	
再エネ比率※	事業実施前 : 0%	事業実施後 : 約29.22%
CO ₂ 削減効果	73t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	非公表	

※施設の年間使用電力量に対する再エネ電力割合

取組のきっかけ、課題/工夫点等

- ・ **ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ :**
Sustechグループは、テクノロジーの力で企業と社会の効率的なGXの推進を支援することを目指しており、2050年の日本でのカーボンニュートラル実現にむけて社会が一斉にGXに動き出し各企業が迅速な対応を迫られる中、本事業を行うことでGXの推進をより加速できると考えた。
- ・ **課題と工夫点 :**
ゴルフ場はクラブハウスの外観含めデザインに拘りを持ったオーナー様が多いため、施工の難易度は高いが、カーポートの中でもスタイリッシュなY型カーポート架台を採用した。
- ・ **事業者の声 :**
お客様からはカーポートの見栄えに加えて、調達電気の再エネ化も実現でき高評価を頂いている。今後はこれまでの知見を活かし、よりGXの推進に貢献すべく他業態の大型駐車場等でも展開していきたい。

事業スキーム図、写真撮影



出典 : 株式会社Sustechエンジニアリングサービス様よりご提供

伊勢工場ソーラーカーポート整備事業（日本特殊陶業株式会社）



事業概要	
事業者	日本特殊陶業株式会社
所在地	三重県伊勢市
施設名(用途)	日本特殊陶業株式会社 伊勢工場
本事業の特徴等	
・本事業では、従業員向け駐車場にソーラーカーポートを設置し、発電した再生可能エネルギーを自家消費することによりCO ₂ 排出量削減に貢献する。 ・停電時の非常用電源としても利用可能な蓄電池を導入する。	

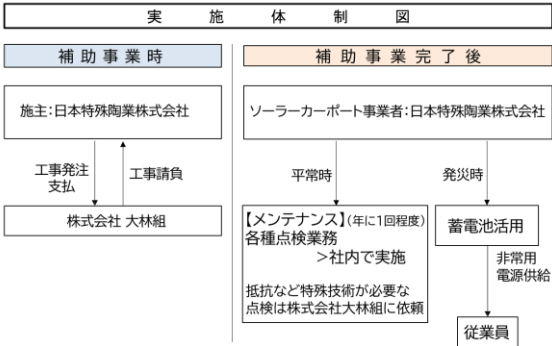
導入設備、事業の効果		
発電容量	太陽光パネル出力	1,092kW
	パワコン出力	880kW
設置タイプ	一体型（駐車場 302台分）	
電力使途	伊勢工場にて自家消費	
事業費	非公開	
事業開始	2025年2月	
導入方式	自己所有	
再エネ比率※	事業実施前：0%	事業実施後：約12%
CO ₂ 削減効果	566t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	約12%	

※事業者様が算出した数値を付記

取組のきっかけ、課題/工夫点等

- ・ **ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ：**
日本特殊陶業株式会社では「気候変動への対応（CO₂排出量の削減）」を優先的に取り組む課題の1つとしており、目標として「CO₂排出量：30%削減 [2018年度比]（2030年度）」を掲げている。その実現に向けた取組の一つとしてソーラーカーポートを導入した。
- ・ **課題と工夫点：**
施工業者と弊社にとって太陽光パネルのカーポートへの設置は初めての取組であり、安全性を考慮したカーポートの形状及び施工方法の確立に苦労した。また、両面パネルを導入することにより、発電効率の最大化を図った。
- ・ **事業者の声：**
他工場・拠点等の横展開を推進していく。

事業スキーム図、写真撮影



出典：日本特殊陶業株式会社様ご提供資料を基にPCKKにて作成



出典：日本特殊陶業株式会社様ご提供資料より24

宿泊施設付きゴルフ場の駐車場を利用した蓄電池付きソーラーカーポート事業



事業概要	
事業者	リソル土地開発株式会社
所在地	茨城県常陸太田市岩手町 1 3 9 8
施設名(用途)	スパ&ゴルフリゾート久慈
その他(特筆事項等)	
当該施設は、災害時における支援協力施設として茨城県から認定されており、ソーラーカーポート及び蓄電池は災害時の携帯電話の充電用としての活用も検討しております。 また、平常時についても、当該施設のデマンド対策への活用の検討や、更には今後普及が見込まれる電気自動車（EV）の充電用バッテリーとしての活用も視野に入れている。	

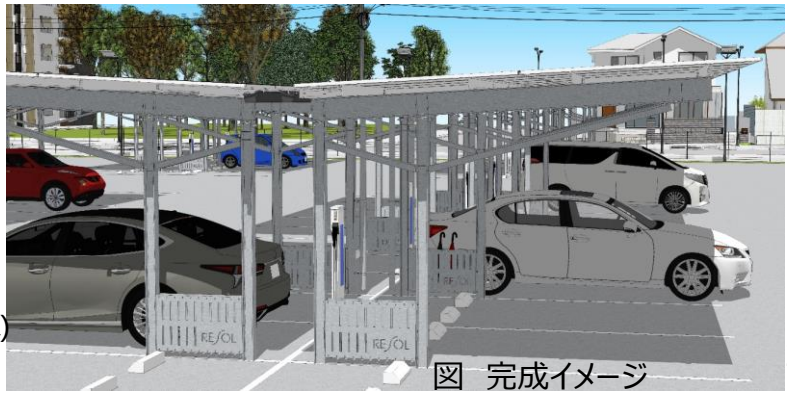
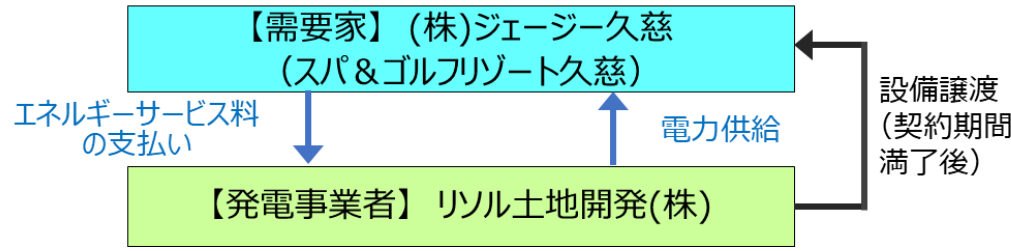
導入設備、事業の効果		
発電容量	太陽光パネル出力 108kW パワコン出力 100kW 蓄電池容量 65kWh	
設置タイプ	太陽光発電搭載型	
電力使途	全量自家消費	
事業費	総事業費：4,500万円 (うち補助額：1,384万円 補助率：1/3)	
事業開始	2022年10月	
再エネ消費比率※	事業実施前：0%	事業実施後：17%
CO ₂ 削減効果	63t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	7%	

※事業者が日中の稼働時間を想定して算出した値

取組のきっかけ、課題/工夫点等

- ・ **ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ：**
グループの企業戦略と同社のミッション「利用者側の脱炭素の取り組みに貢献できるようなサービス提供」を実現させるため実施した同社初の事業である。
- ・ **課題と工夫点：**
お客様の駐車時の安全性の確保のため、柱を後方に寄せた独自のカーポートの開発を2021年5月から行い、実現させた。
- ・ **副次的効果：**
カーポート新設によりお客様の駐車時の利便性（雨天対応等）が向上する点も大きなメリットである。
- ・ **事業者の声：**
同社は発電事業者でもあり、本補助事業で得られた知見やノウハウを活かし、補助金の有無に関わらず、同社グループ以外の全国のゴルフ場やリゾート施設、商業施設等、大規模駐車場を有している施設への同取組の普及を目指していきたい。

事業スキーム図、完成イメージ図



出典：リソル土地開発(株) 提供資料より

図 完成イメージ

ジャバラたつの工場第5期カーポート太陽光発電設備設置事業



事業概要	
事業者	株式会社ジャバラ
所在地	兵庫県たつの市揖西町南山3-8
施設名(用途)	株式会社ジャバラたつの工場
本事業の特徴等	
2050年カーボンニュートラルを早期に達成すべく、2015年より積極的な太陽光発電設備の導入を推進している。本事業では、駐車場として使用している場所に太陽電池設置型のカーポートを設置する事で、200kWの太陽光発電設備を増設し、更なるCO2削減を目指す事業である。 - 創業以来、継続的に環境貢献に関する取組を実施しており、2010年にはエコアクション21の認証を取得した。	

導入設備、事業の効果		
発電容量	太陽光パネル出力 204kW パワコン出力 200kW	
設置タイプ	搭載型（駐車場69台分）	
電力使途	株式会社ジャバラたつの工場にて自家消費、余剰分は売電	
事業費	総事業費：6,207万円 （うち補助額：1,990万円 補助率：1/3）	
運転開始	2023年2月	
再エネ比率※	事業実施前：33%	事業実施後：58%
CO ₂ 削減効果	133t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	74.8%	

備考）※再エネ比率：2022年1月～12月の発電量を基に算出

取組のきっかけ、課題/工夫点等
・ ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ： 本事業実施場所である「たつの工場」の屋根には、2022年の第4期太陽光発電設備導入により、ほぼ全面に太陽光パネルを設置している。駐車場スペースへ太陽光発電設備を設置し、さらなるCO₂削減を実現させるため、第5期事業として本事業を実施した。 ・ 課題と工夫点： 太陽電池モジュールの出力数と同程度の出力が可能なパワーコンディショナーを利用することにより、200kWの出力が可能となった。また、駐車場の水勾配が大きく、外観及び強度向上のため、カーポート架台を追加加工して設定した。 ・ 事業者の声： 今後は防災用電源の拡充を図り、地域貢献にも寄与したいと考えている。

事業スキーム図

```

graph TD
    JB[株式会社ジャバラ] -- "・発注  
・支払" --> HE[英賀電気設備管理事務所]
    HE -- "・定期点検  
・保守" --> JB
    HE -- "・発注  
・支払" --> CP[カーポート太陽光発電設備]
    CP -- "・見積り合わせにより  
納入業者を選定予定  
【設計・監理・工事】" --> HE
        
```

写真：ソーラーカーポート設置場所

株式会社ジャバラ

- 事業実施責任者 代表取締役社長
- 事業実施担当者 総務部
- 現地責任者兼施工監理運用責任者 たつの工場製造部長
- 経理担当 総務部

英賀電気設備管理事務所

- 主任技術者

離島（五島市）におけるオンサイトPPAモデルを活用したソーラーカーポート導入事業

事業概要	
事業者	一般社団法人離島エネルギー研究所
所在地	長崎県五島市吉久木町949番地
施設名(用途)	株式会社眞崎商店（事務所等）
その他（特筆事項等）	
本事業は、（株）眞崎商店の事務所の駐車場屋根に、（一社）離島エネルギー研究所が発電事業者（PPA事業者）となりソーラーカーポートを導入した取組である。 五島市では電気自動車（EV）の普及が進んでおり、当施設の駐車場にもEV 2 台分の既設の200V普通充電器（ワークプレイスチャージング）があり、平常時は発電した電気はEVに利用し、災害時等はEVの車載用蓄電池と連携することで停電時の電力供給を行うものである。	

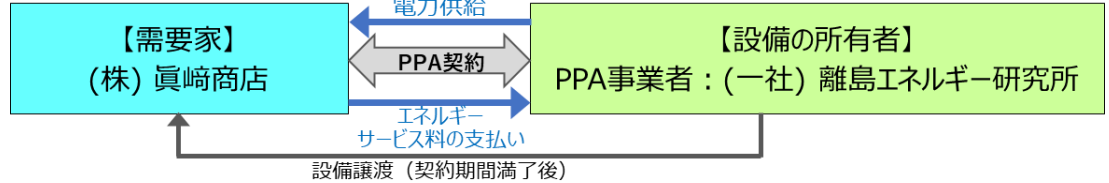
導入設備、事業の効果		
発電容量	太陽光パネル出力 6kW パワコン出力 6kW	
設置タイプ	太陽光発電搭載型（駐車場2台分）	
電力用途	全量自家消費	
事業費	総事業費：146万円 （うち補助額：48万円 補助率：1/3）	
事業開始	2022年4月	
再エネ消費比率※	事業実施前：100%	事業実施後：100%
CO ₂ 削減効果	4t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	（※非公表）	

※事業実施前で再エネ電力100%調達を実現。電力消費増分を本事業の発電電力量で賄う

取組のきっかけ、課題/工夫点等

- ・ **ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ：**
本事業は、対象施設の電力消費増（EV 1 台増など）を受けて再エネ電力の調達で賄うため、当市で初めてのオンサイトPPA方式による再エネ電力販売を行ったプロジェクトである。
- ・ **課題と工夫点：**
太陽光パネル調達では、五島市内で余っているパネルを安価で購入し、当社でシステム設計検討したことで、事業費の抑制が実現できた。
今後、当該地域でのソーラーカーポート事業の普及も見据え、本事業は地域の工務店等の地元企業を中心とした実施体制とした。
- ・ **事業者の声：**
離島地域におけるエネルギーの地産地消、地域貢献等につなげるべく、オンサイトPPA方式を活用した小規模な太陽光発電導入のモデルケースの1つとして、今後は地域の地域新電力会社が発電事業者となり五島市で普及させることを目指していきたい。

事業スキーム図、完成写真



既存の200V普通充電器



出典：(一社) 離島エネルギー研究所提供資料より作成

サングルポ阿南協同組合 ソーラーカーポート設置事業



事業概要	
事業者	サングルポ阿南協同組合
所在地	徳島県阿南市西路見町堤外65番1
施設名(用途)	ショッピングプラザアピカ
本事業の特徴等	
- 従来の“買い物をする拠点”に加え、“環境面、防災面の拠点”となり、地域の再エネ主力化、レジリエンス強化に貢献する。 - 災害発生時、停電が発生しても太陽光発電が発電する日中であれば最大1500Wの電源が確保可能になり、最新情報の入手、発信ができる。	

導入設備、事業の効果		
発電容量	太陽光パネル出力 395kW パワコン出力 338kW	
設置タイプ	搭載型（駐車場128台分）	
電力用途	ショッピングプラザアピカにて自家消費	
事業費	総事業費：6,600万円 （うち補助額：2,011万円 補助率：1/3）	
事業開始	2024年6月	
再エネ消費比率	事業実施前：0%	事業実施後：20.2%
CO ₂ 削減効果	290t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	13.9%	

取組のきっかけ、課題/工夫点等
・ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ： ①環境貢献するため。②当初屋根設置を検討したが、耐荷重に問題があり、ソーラーカーポート事業への取り組みに変更したため。 ・課題と工夫点： ①発電効率を最大化するためにアレイを南向きにて設計し、裏面からの反射光を有効活用できる両面パネルを採用した。②意匠と駐車しやすいさを意識し、W型の柱を採用した。③風害に対して架台の十分な強度を確保するため、コンクリート基礎工法を採用した。④水害への備えとして、トランス盤・パワコンの基礎高さを800mmとした。⑥現状の地表面は不陸があり、カーポートの高さを揃えるため、ドローン測量を実施した。 ・事業者の声： ①地域の皆様へ環境問題の普及啓発ができる。②夏場、駐車時の車内の温度抑制効果など利便性の向上が期待できる。

事業スキーム図

・管理責任者 副理事長
・経理担当 事務局長

サングルポ阿南協同組合
【事業者】

・発注
・支払い

・太陽光
発電設備
・工事
・設計

株式会社G F
【発注先】

・定期点検
・不具合
対応

出典：サングルポ阿南協同組合
提供資料を基に作成

片山工業株式会社 本社工場 ソーラーカーポート整備事業（ひろぎんリース株式会社）



事業概要	
事業者	ひろぎんリース株式会社
所在地	岡山県井原市
施設名(用途)	片山工業株式会社 本社工場
本事業の特徴等	
・本事業は、片山工業株式会社の本社工場の駐車場に自家消費型の太陽光発電設備を搭載したカーポートや蓄電池システム、EV充電設備を導入した事業である。	
・災害時等の停電時には、カーポートと同時に導入する蓄電池システムやEV充電設備の活用を想定しており、レジリエンス向上に寄与する。	
・地域との防災協定締結に向け協議をしており、締結後は避難所として提供すると共に、蓄電池システムを使用し電力の提供も行う。	

導入設備、事業の効果		
発電容量	太陽光パネル出力	743kW
	パワコン出力	610kW
設置タイプ	搭載型（駐車場 264台分）	
電力使途	工場及びEV充電設備にて自家消費	
事業費	16,215万円（補助額：5,320万円 補助率：1/3）	
事業開始	2024年11月	
導入方式	リースモデル	
再エネ比率※	事業実施前：約0%	事業実施後：約15%
CO ₂ 削減効果	348t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	約11%	

※日中の稼働時間を想定して算出した値

取組のきっかけ、課題/工夫点等
・ ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ： 片山工業株式会社では会社全体として環境と調和する技術開発と環境にやさしいものづくりに努めていることから、CO₂削減に貢献する太陽光発電を導入していきたいと考え、ソーラーカーポートを設置した。 ・ 課題と工夫点： 最大限再エネ化を図るため既設駐車場におけるカーポート設置が可能な箇所に全て設置を行った。また、既設の駐車場への設置の為、施工の期間を短縮しその間の従業員や来客者用の駐車場を別途準備した。 ・ 事業者の声： ソーラーカーポート整備事業における片山工業株式会社様のご支援が行えたことを嬉しく思っている。ソーラーカーポートについては社内及び社外の方に向けて再生可能エネルギーの導入促進の取組を伝えることができることや夏場の車両の高温化の回避等の副次的な効果にも期待している。

事業スキーム図、完成写真

```
graph TD
    A["片山工業株式会社  
【施設の所有者／需要家】  
共同事業者"]
    B["リース事業者：  
ひろぎんリース株式会社  
【設備の所有者】  
代表申請者(代表事業者)"]
    C["株式会社山善  
【設計・監理・工事】"]
    A -- "リース料金の支払" --> B
    B -- "太陽光発電設備・  
定置用蓄電池・  
EV充電設備の使用" --> A
    B -- "発注・検収・支払" --> C
    C -- "需要地に太陽光発電  
設備・定置用蓄電池・  
EV充電設備の設置" --> B
```

写真：太陽光パネル設置状況

写真：ソーラーカーポート設置状況

出典：ひろぎんリース（株）提供資料より

写真：ソーラーカーポート設置状況

ジャトコ株式会社八木地区へのソーラーカーポート整備事業
 （株式会社関電エネルギーソリューション）



事業概要	
事業者	株式会社関電エネルギーソリューション
所在地	京都府南丹市八木町室橋山田 1 0 - 1
施設名(用途)	ジャトコ株式会社八木地区（工場）
本事業の特徴等	
・本事業は、ジャトコ株式会社八木地区の既設駐車場（社員及び来場者等用）へ太陽光システム（ソーラーカーポート）を新規導入する事業である。 ・本事業により発電された電気は全量をジャトコ株式会社八木地区内の工場にて自家消費する予定であり、年間1,281,232kWhの自家消費量が見込まれる。本事業にて事業所で消費されている電力の約2.8%を賄える予定である。 ・構内が全停電となった場合には、自立運転機能を有するPCSより非常用コンセントに給電を行う。	

導入設備、事業の効果		
発電容量	太陽光パネル出力	1061kW
	パワコン出力	894kW
設置タイプ	搭載型（駐車場 242台分）	
電力用途	ジャトコ株式会社八木地区内の工場にて自家消費	
事業費	非公開	
事業開始	2025年2月	
導入方式	自己所有	
再エネ比率※	事業実施前：0%	事業実施後：約2.8%
CO ₂ 削減効果	556t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	約2.8%	

※事業者様が算出した数値を付記

取組のきっかけ、課題/工夫点等
・ ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ： ・これまで関西電力グループは電力事業や再生可能エネルギー事業を実施した実績があり、本事業にてソーラーカーポートを導入することにより、事業先及び地域の再生可能エネルギー主力化とレジリエンスの強化、また、2050年に向けてカーボンニュートラルな社会の実現に大きく寄与できると考えた。 ・本事業を契機として需要家であるジャトコ株式会社八木地区において、カーボンニュートラルへの取組が進捗すると考えた。 ・ 課題と工夫点： 既設駐車場への設置のため、施工中の駐車場の確保として、作業区域の分割及び一部仮駐車場を確保していただき施工した。 ・ 事業者の声： 2050年カーボンニュートラルに向け、脱炭素社会の実現としてソーラーカーポートを導入した。今後も再生可能エネルギーの導入拡大を推進する。



出典：株式会社関電エネルギーソリューション様よりご提供

特別養護老人ホーム朱鷺いろの杜梅津ソーラーカーポート整備事業（社会福祉法人勇樹会）



事業概要	
事業者	社会福祉法人勇樹会
所在地	新潟県佐渡市（多雪地域）
施設名(用途)	特別養護老人ホーム朱鷺いろの杜梅津
本事業の特徴等	
・本事業は令和6年7月に竣工した特別養護老人ホーム朱鷺いろの杜梅津において、施設全体で使用するエネルギーの50%を再生可能エネルギーで賄うことを目的に、木質ペレットボイラー（給湯のエネルギーとして使用）の設置とソーラーカーポートの導入を行った。 ・ソーラーカーポートは施設の駐車場に設置し、施設の電力として全量自家消費を行う。 ・本事業を通じて、佐渡市の脱炭素化に貢献する。	

導入設備、事業の効果		
発電容量	太陽光パネル出力	59kW
	パワコン出力	55kW
設置タイプ	搭載型（駐車場 20台分）	
電力使途	建物の空調・照明・厨房施設などにて全量自家消費	
事業費	2,377万円（補助額：498万円 補助率：1/3）	
事業開始	2024年11月	
導入方式	自己所有	
再エネ比率※	事業実施前：0%	事業実施後：約10%
CO ₂ 削減効果	29.15t-CO ₂ /年	
施設のCO ₂ 削減率	約10%	

※日中の稼働時間を想定して算出した値

取組のきっかけ、課題/工夫点等
・ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ： 建物の構造とスペース上、計画発電量全量を賄うソーラーパネルを屋上に設置できなかったため、別の場所に一定割合のソーラーパネルを設置した場合を試算した結果、計画発電量の約74%をソーラーカーポートで賄うことがよいと判断し、屋外の職員駐車場への設置が決定した。 ・課題と工夫点： ソーラーカーポート設置場所の土地の形が異形であったため駐車場の外周部には設置せず、建物の日陰を考慮して土地の中央部にまとめて設置した。屋根の勾配は発電量を上げるため南向きに統一した。 ・事業者の声： 想像していたソーラーカーポートより立派でしっかりとしたカーポートが完成した。今後は、施設の外周フェンスの代わりとして直立型の太陽光発電を検討していきたい。



出典：社会福祉法人勇樹会提供資料より

